

業績・財務ハイライト

当第2四半期の業績について

国内外ともに期後半にかけて売上・受注ともに回復したものの為替が急激に円高に推移したこと等により前年同期比減収減益。

売上高

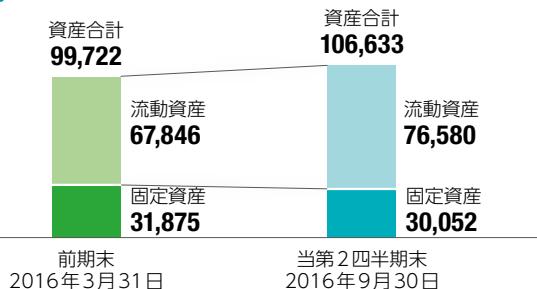
283億87百万円

営業利益

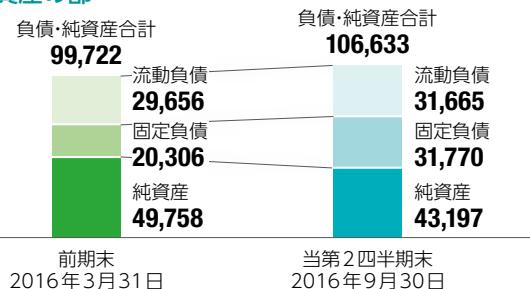
19億82百万円

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

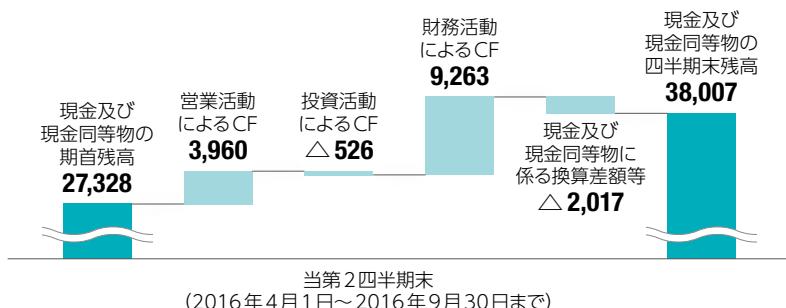
資産の部



負債・純資産の部



連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:百万円)



POINT

B/S:為替レートが円高に推移した為、外貨建て資産が目減りしたものの、新株予約権付社債80億円の調達により、総資産は前期末比で増加(前期末比+69億11百万円)。手元現金金が潤沢にあり、流動性も200%以上を維持しています。

POINT

C/S:営業CFは仕入債務、前受金の増加により39億60百万円のプラス、また、財務CFは新株予約権付社債の発行及び長期運転資金の調達により、92億63百万円のプラスとなり、その結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は380億7百万円となりました(前期末比+106億79百万円)。

IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます

http://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR

検索



セグメント別の概況 (単位:百万円)

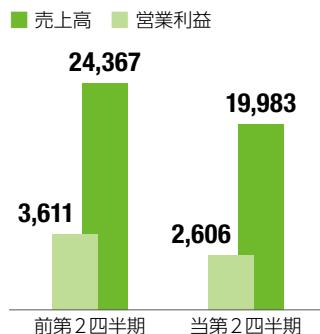


工作機械事業

放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ等の開発・製造・販売

自動車、航空機、医療機器関連からの需要が堅調。

国内では、政府の補助金政策等の影響もあり、自動車関連の需要が好調に推移しました。北米では航空機、医療機器関連が牽引し、底堅い需要が継続し、欧州でも、ドイツを中心に航空機、自動車関連からの需要が堅調に推移しました。中国では、自動車及びスマートフォン関連から、高精度な機械の需要が増加しましたが、その他アジア地域では、タイヤインドネシアの自動車関連需要や、韓国でのスマートフォン関連需要が低調でした。また、為替レートが円高に推移したことにより売上高は前年同期比で減少しました。

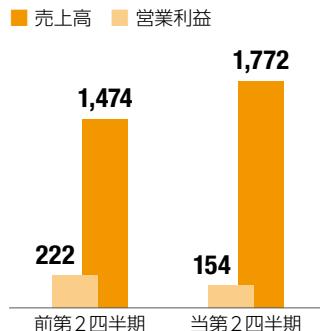


食品機械事業

麺製造プラント、製麺機等の食品機械及びその応用製品の開発・製造・販売

調理麺の品質向上のための設備投資需要が引き続き増加。

国内では、コンビニエンスストアやスーパーマーケット及び外食チェーン店向けに、調理麺の品質向上を目的とした設備投資需要が継続しました。製麺機の技術を応用し、製菓業界、包装米飯や包装惣菜業界向けにも需要先の拡大を進めております。海外でも、中国での冷凍麺用設備の需要増加などもあり、好調に推移しています。

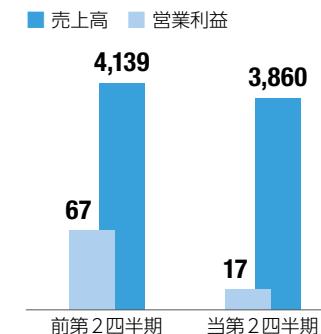


産業機械事業

射出成形機等の開発・製造・販売

自動車、スマートフォン関連などで、高付加価値部品向けの需要が増加。

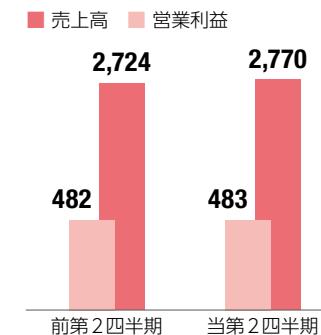
国内では、自動車関連の車載部品、コネクタ、ヘッドライト部品やスマートフォン関連のレンズなど、高付加価値部品向けの需要は堅調となりました。海外は、北米で医療機器、自動車関連を中心に堅調であり、中国でもスマートフォン関連のレンズやコネクタ向けを中心に高精度な成形機の需要が増加しており、好調に推移しています。



その他事業

プラスチック成形品等の製造・販売、リニアモータ応用製品、セラミック製品及びその制御機器、LED照明等の開発・製造・販売、当社製品等のリース

精密金型・精密成形事業で引き続き自動車関連からの好調な需要が見られたほか、セラミックス事業も順調に推移しました。



IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます
http://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR

検索

